

様式1-2(幼稚園)の作成の手引き

CHECK ←

- 本様式は、職員配置状況により適否が変わる加算項目について、毎月どの加算項目を適用させるのかを申告していただくための様式です。
- 毎月、職員数報告と併せてご提出ください。
- 審査の結果、ご申告内容と加算適用内容が異なることもあります。
- 青色塗りの欄は自動計算されます。ピンク塗りの欄のみご入力ください。

1. 利用定員数、月初の児童数を入力

基本分単価に含む配置保育教諭等

施設名 _____

⑧利用定員	1号	80	人	月初の園児数	1号	⑨5歳児	⑩4歳児	⑪3歳児 (満3歳児除く)	⑫満3歳児	1号小計
						20	人	20	人	20

すると、年齢別配置基準が自動計算される

年齢別配置基準	3歳児配置改善加算/満3歳児対応加配加算		⑩年齢別配置基準		
	3歳児配置改善加算及び満3歳児対応加配加算を適用する場合		$(⑨+⑩)/30+⑪/15+⑫/6$		6 人
	3歳児配置改善加算のみ適用する場合		$(⑨+⑩)/30+(⑪+⑫)/15$		4 人
	満3歳児対応加配加算のみ適用する場合		$(⑨+⑩)/30+⑪/20+⑫/6$		6 人
いずれも適用しない場合		$(⑨+⑩)/30+(⑪+⑫)/20$		3 人	

必要教員数も自動計算される

必要教員数	3歳児配置改善加算/満3歳児対応加配加算		③必要教員数 (⑩+⑪)		④算定上の適否	
	A	3歳児配置改善加算及び満3歳児対応加配加算を適用する場合の必要教員数	6	人	#DIV/0!	
	B	3歳児配置改善加算のみ適用する場合の必要教員数	4	人	#DIV/0!	
	C	満3歳児対応加配加算のみ適用する場合の必要教員数	6	人	#DIV/0!	
D	いずれも適用しない場合の必要教員数	3	人	#DIV/0!		

2. 職員の配置状況を入力

※保育士資格、幼稚園教諭免許を持つ職員のみ計上すること！！

※職員数報告に掲載している順番と一致させること！！

氏名	職種	園長の専任/非専任		⑳ 常勤教職員1人の月当たり勤務時間	時間
		専任	非常勤	160	
a	園長	専任			
b	副園長				
c	主幹教諭				
d	主幹教諭				
e	教諭(担任)				
f	教諭(担任)				
g	教諭				
h	教諭				
i	教諭				
⑲ 計 8 名					
※プルダウンより選択すること 職報チェック					
・幼稚園教諭免許を有する ・常勤の教育従事者 を記入					
⑳ 計 1 名					
・幼稚園教諭免許を有する ・常勤の教育従事者以外 を記入					
氏名	職種	月当たり勤務時間		時間	
k	教諭	120		時間	
l	教諭	120		時間	
m	教諭	100		時間	
n	教諭	100		時間	
o	教諭	50		時間	
p	教諭	50		時間	
⑳ 計 6 名					
・幼稚園教諭免許を有する ・非常勤の教育従事者 を記入					
氏名	職種	月当たり勤務時間		時間	
				時間	
				時間	
				時間	
・幼稚園教諭免許を有する ・非常勤の教育従事者以外 を記入					

加算の適用を受ける職員は別に記入

※上の表に掲載している職員と重複してはいけない！！

その他配置職員

副園長・教頭設置加算の対象となる副園長等 (資格があり、幼稚園教諭としてカウントする場合は上記の『基本分単価に含む配置教諭等』に挙げること)	氏名	
	q	
主幹教諭等を専任化させるための代替教諭等 (非常勤講師等でも可) (主幹教諭等の専任化による子育て支援の取組を実施できていない場合は記入不要)	氏名	
	r	
療育支援加算を適用し配置した主幹教諭等を補助する者 (非常勤職員でも可、資格の有無は不問)	氏名	職種
	s	教諭
事務職員配置加算の対象となる者 (利用定員が91人以上で、かつ ①基本分単価において求められる事務職員(園長等の兼務でも可)を超えて、 ②非常勤事務職員(本加算の対象者)を配置している場合に加算)	①の職員の氏名	加算適否
	a	加算不可
	②の職員の氏名	
事務負担対応加配加算の対象となる者 (利用定員が271人以上で、かつ事務職員配置加算において求められる非常勤事務職員を超えて、非常勤事務職員を配置している場合に加算)	氏名	加算適否
		加算不可
講師配置加算の対象となる者 (基本分単価及び他の加算等の認定に当たって求められる「必要教員数」を超えて、非常勤講師(幼稚園教諭免許状を有し、教諭等の発令を受けている者)を配置する教育標準時間認定子どもに係る利用定員が35人以下又は121人以上の施設に加算)	氏名	加算適否
	u	加算可
一時預かり事業(幼稚園型)を実施し、“就労支援型施設加算”を申請する予定がある場合は記入	就労支援型施設加算 (平日及び長期休業日に8時間以上の預かりを実施し、かつ小規模保育事業等と連携しており、上記事務職員以外に事務職員を配置していること)	事務職員の氏名
		v

職員を入力すると、必要教員数から各配置加算の適用可否が○×で表示される

必要教員数	3歳児配置改善加算/満3歳児対応加配加算		③必要教員数 (②0+②1)	④算定上の 適否
	A	3歳児配置改善加算及び満3歳児対応加配加算を適用する場合の必要教員数	6	人 ○
	B	3歳児配置改善加算のみ適用する場合の必要教員数	4	人 ○
	C	満3歳児対応加配加算のみ適用する場合の必要教員数	6	人 ○
D	いずれも適用しない場合の必要教員数	3	人 ○	

3. 3・満3歳児配置改善加算の“○”の項目のうち、どの加算を適用させるか選ぶ

満3歳児配置改善加算 3歳児配置改善加算	④の算定上の適否の結果を受けて、適用可能な項目(「○」印の付いている項目)から実施する項目を1つ選択 ※「×」印の付いている項目は選択しないこと。				
		算定上の 適否	3歳児配置改善/満3歳児対応	選択	今回は これを選択
	A	○	「3歳児配置改善」と「満3歳児対応」の両方を実施する	○	
	B	○	「3歳児配置改善」のみを実施する		
	C	○	「満3歳児対応」のみを実施する		
D	○	いずれも実施しない			

すると、加算適用状況が以下の通り示される

3歳児配置改善加算の適否	満3歳児配置改善加算の適否	チーム保育加配加算の加配人数	年齢別配置基準を下回る場合の調整人数
適	適	2 人	0 人

終わり